

ふわふわと笑顔の輪

都留市立都留第二中学校三年 長田 彩葉

全ての人々が当たり前に幸せを感じるためには、優しく温かい「ふわふわ言葉」を使うこと、そして笑うことが大切だと思う。そう思えるきっかけをくれたのは、私が小学生の時の保健の先生だった。

私は、小学校五年生から六年生までの二年間保健委員をしていた。その先生とは、委員会での活動や休み時間によく話すようになり、相談事やくだらない話を聞いてくれるとても大好きな先生だった。ある日、クラスで起こった少し嫌な出来事について先生に相談をした時、

「そういう時にはね、ふわふわ言葉を使えば解決だよ。」

と教えてくれた。ふわふわ言葉は、相手が聞いて嬉しくなる言葉。反対に、相手が悲しい気持ちになる言葉をチクチク言葉と言うことも追加で話してくれた。私はこの時に、それだけでいいのかと疑問に思ったが、みんなにふわふわ言葉をかけてみることにした。友達が得意なことを見せてくれた時には、ほめる言葉を、私が困っている時に助けてくれた友達には感謝の言葉を、逆に友達が悩んでいる時には優しい言葉をかけた。こうしたたくさんのふわふわ言葉を使っていくうちに、自分の心が明るく、きれいになっていく感じがした。そして、私の周りの友達もだんだんと優しいふわふわな言葉遣いを発する人が多くなった。ささいな変化でも、ふわふわ言葉の影響を目の当たりにし、先生のすごさも感じた。振り返ってみると、私が幸せだと思ったことにはいつも、「ふわふわ」が隠れていた。ありがたい言葉、心配の言葉。そして、大好きという言葉。どの言葉もかけてもらった時には、たくさんの幸福感を味わうことができた。先生が教えてくれた言葉は、数年たった今でも忘れられない私にとって大切な言葉だ。そして、先生が教えてくれたことはもう一つある。それは、笑顔を見せること。周りがいつも笑っていると、自然と自分も笑顔になれるといった経験を、私は何度もしたことがある。

先生は、

「笑うことは、自分の心も軽くできて、周りの人も楽しくさせる素敵なことなんだよ。」

と言っていた。私は先生の言葉を聞いて、笑うことで楽しさや嬉しさ、幸せを感じることができるのだと考えた。だから、私は家族や友達、自分の周りの人

達の笑顔が大好きだ。

世界が平和になるために、まずは自分からふわふわ言葉をかけること、自分から笑いかけることが第一歩だと思う。自分の周りのことから行動していくことで「ふわふわの輪」「笑顔の輪」が繋がり、いつか全ての人々が幸せだと思える世界がくると信じている。

私の将来の夢は、保健の先生になることだ。小学生時代の私にたくさんの大切なこと、たくさんの思い出をくれた大好きな先生に少しでも近づきたいと思っている。今は、その先生のようになるために勉強はもちろん、ふわふわ言葉の語彙を増やすことを頑張っている。そして、未来の子ども達にふわふわ言葉を教え、笑顔になってもらうためにも、世界の平和と幸せを願っている。